

令和 3 年度  
事業報告書

社会福祉法人 太良町社会福祉協議会

## 目 次

1. 会務の運営ならびに連絡調整	
(1) 理事会の開催	2
(2) 監事会の開催	4
(3) 評議員会の開催	6
(4) 評議員選任・解任委員会の開催	7
2. 太良町による財政援助団体の監査	7
3. その他	
(1) 役職員等研修事業	8
(2) 町内（行政・関係法人等）会議	9
(3) 社会福祉協議会会費納入実績	10
4. 事 業	
(1) 児童福祉事業	10
(2) 援護事業	11
(3) 老人福祉活動事業	11
(4) 生きがい対策事業	12
(5) 障がい者福祉事業	14
(6) 福祉一般	14
(7) 機関誌「心」発行	27
(8) 貸付事業	27
(9) シルバー人材センター事業	27
(10) 介護保険事業	28
(11) 地域福祉推進事業関係	29
(12) 総合福祉保健センターしおさい館の指定管理	29
(13) 大町災害ボランティアセンター支援	34
(14) 関連団体事務取り扱い	34

## 令和3年度 太良町社会福祉協議会事業報告

### 1. 会務の運営ならびに連絡調整

円滑な会務運営ならびに事務執行を図るため、次のとおり理事会・監事会・評議員会を開催した。

#### (1) 理事会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/03	理事 8名中 8名出席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 2名出席	<p><b>【議決事項】</b></p> <p>第1号議案 太良町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について</p> <p>第2号議案 太良町社会福祉協議会理事選任案について</p> <p>第3号議案 太良町社会福祉協議会監事選任案について</p> <p>第4号議案 太良町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について</p> <p>第5号議案 太良町社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について</p> <p>第6号議案 評議員選任・解任委員会の招集について</p> <p>第7号議案 定時評議員会の招集について</p> <p>第8号議案 太良町社会福祉協議会令和2年度事業報告及び決算の承認について</p> <p>第9号議案 令和3年度太良町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)(案)について</p> <p>以上9議案 原案どおり可決</p>

			<p><b>【報告事項】</b>  報告第1号 令和2年度下期における  会長及び常務理事の職  務の執行状況について</p>
06/25	理事 8名中 8名出席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 2名出席	第1号議案 太良町社会福祉協議会事 務局長の選任について 第2号議案 太良町社会福祉協議会会 長、副会長及び常務理事 の選任について  以上2議案 原案どおり可決 なお、会長に合浦善哉理事、副会長に 菅原貞春理事及び常務理事に新貝雄 二理事（事務局長）を選任した。	
11/19	理事 8名中 7名出席 1名欠席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 3名出席 行政職員 1名出席	<b>【議決事項】</b> 第1号議案 令和3年度太良町社会福 祉協議会一般会計補正 予算（第2号）（案）に ついて 第2号議案 太良町社会福祉協議会就 業規則の改正について  以上2議案 原案どおり可決  <b>【報告事項】</b> 報告第1号 令和3年度上期における 会長及び常務理事の職 務の執行状況について 報告第2号 令和3年度定期監査の結 果について 報告第3号 太良町監査委員による財 政援助団体の監査結果 について	

			<p>【協議事項】</p> <p>協議第1号 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス（第1号通所事業）について</p>
03/24	<p>理事 8名中 7名出席 1名欠席</p> <p>監事 2名中 2名出席</p> <p>事務局職員 2名出席</p>		<p>【議決事項】</p> <p>第1号議案 社会福祉法人太良町社会福祉協議会経理規程の改正について</p> <p>第2号議案 社会福祉法人太良町社会福祉協議会就業規則の一部改正について</p> <p>第3号議案 太良町社会福祉協議会事務局組織機構の改編について</p> <p>第4号議案 令和3年度太良町社会福祉協議会一般会計補正予算（第3号）（案）について</p> <p>第5号議案 令和4年度太良町社会福祉協議会事業計画並びに一般会計資金収支予算（案）について</p> <p>以上5議案 原案どおり可決</p>

(2) 監事会の開催

期 日	出 席 者	監査の対象・方法・結果
05/25	監事 2名中 2名出席	<p>監査対象</p> <p>令和2年度社会福祉法人太良町社会福祉協議会事業報告及び決算</p> <p>監査方法</p> <p>令和2年度事業報告書・決算に関</p>

		<p>する貸借対照表・財産目録及び資金収支計算書・事業活動収支計算書について、諸帳票の提出を求め、職員から事情を聴取し、以下の事項を主眼点に監査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容は、定款及び関係法令に準拠し、公明かつ適正に行われたか。</li> <li>・業務及び事業の執行については、所期の目的に沿って効率的で適正な執行がなされたか。</li> <li>・決算の計数は正確であるか。</li> <li>・財産の管理や運営は適正か。</li> </ul> <p>監査結果</p> <p>(1) 事業報告等の監査結果</p> <p>①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。</p> <p>②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。</p> <p>(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果</p> <p>計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認める。</p>
10/22	監事 2名中 2名出席	<p>監査対象</p> <p>令和3年度事業進捗状況及び一般会計（上期分）</p>

		<p>監査方法</p> <p>貸借対照表・収支計算書（サービス区分ごとの内訳表を含む）等の諸帳票の提出を求め、職員から事情を聴取し、以下の事項を主眼点に監査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定款及び規程等に準拠し、業務及び事業の執行は適正か。</li> <li>・定款及び規程等の整備状況について。</li> <li>・計数は正確であるか。</li> <li>・財産の管理や運営は適正であるか。</li> </ul> <p>監査結果</p> <p>業務及び事業の執行は、定款及び諸規程に則り、適正であると認める。</p> <p>貸借対照表は、関係帳票及び証拠書類等を照合した結果、正確であり、資産と負債の状況を正しく示していることを認める。</p> <p>収支計算書は、収入と支出の状況を正しく示していることを認める。</p>
--	--	---

(3) 評議員会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/25	理事 2名出席 評議員 10名中 10名出席 監事 2名出席 事務局職員 2名出席	<p>【議決事項】</p> <p>第1号議案 太良町社会福祉協議会理事及び監事の選任について</p> <p>第2号議案 太良町社会福祉協議会令和2年度決算書類（貸借対照表及び収支計算書</p>

		<p>(資金収支計算書及び事業活動計算書)) 及び財産目録の承認について</p> <p>以上 2 議案 原案どおり可決</p> <p><b>【報告事項】</b> 報告第 1 号 太良町社会福祉協議会令和 2 年度事業報告</p>
--	--	--

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/15	<p><b>【出席委員】</b></p> <p>外部委員 1 名</p> <p>監 事 2 名</p> <p>事務局員 1 名</p> <p><b>【その他の出席者】</b></p> <p>事務局長 1 名</p> <p><b>【欠席委員】</b></p> <p>外部委員 1 名</p>	<p>選任候補者の情報提供、審議及び議決</p> <p>(1) 候補者の履歴</p> <p>(2) 候補者とした理由</p> <p>(3) 候補者と本会及び本会役員(理事、監事)との関係</p> <p>(4) その他候補者に関する情報</p> <p>以上の結果、樋口博明評議員・鶴田義廣評議員(区長会)、前田友子評議員(民児協)、村岡千秋評議員(保護司会)、岡崎正樹評議員(福祉施設)、下平力人評議員(老連)、中村康夫評議員(身障会)、大串洋徳評議員(ボラ連)、津岡徳康評議員(行政)、及び馬場誉吉評議委(商工会)を選任</p>

2. 太良町による監査

期 日	出 席 者	監査結果
10/07	<p>監査班 監査委員 2 名</p> <p>立会者 町職員 3 名</p> <p>本会 会長 1 名</p>	<p><b>【1】</b> 財政援助団体等に関する監査</p> <p>地方自治法第 199 条第 7 項の規定による監査の結果、社会福祉協議会事</p>



	<p>事務局長 1名 事務局職員 1名</p>	<p>務費補助金（事務局職員の人件費に係る部分の補助）について、特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>《監査委員の意見・要望》 引き続き事業の健全な経営を図っていただき、地域福祉の推進に取り組んでいただきたい。</p> <p>【2】公の施設に係る指定管理業務の監査 《指摘事項》 引き続き太良町の福祉を推進する中核施設として管理していただきたい。</p>
--	-----------------------------	--

### 3. その他

#### (1) 役職員等研修事業

期 日	出席者	内 容	開催地
5月11日	職員 1名	市町社協職員連絡協議会役員会・総会	佐賀市
7月1日	職員 2名	市町社協職員課題別研究会	佐賀市
7月7日	職員 1名	福祉サービス利用援助事業専門員等連絡会	佐賀市
7月20日	職員 1名	成年後見制度に関する市町担当者等会議	鹿島市
7月21日	職員 1名	市町職員・市町社協職員への成年後見制度利用促進研修会	オンライン
8月5日	職員 1名	佐賀県第1層生活支援コーディネータ連絡会	佐賀市
8月6日	職員 1名	市町社協職員課題別実践研究会	佐賀市
8月31日	職員 1名	甲種防火管理者再講習	佐賀市
9月14日	職員 1名	安全運転管理者等講習	嬉野市
9月16日	職員 2名	市町社協職員課題別実践研究会	佐賀市
9月28日	職員 1名	成年後見制度に関する市町担当者等会議	鹿島市
10月7日	職員 1名	市町社協職員課題別実践研究会	佐賀市
10月26日	職員 1名	市町社協職員連絡協議会研修会打ち合わせ会	佐賀市
10月27日	職員 1名	生涯現役社会の実践セミナー	佐賀市
10月16日	職員 1名	佐賀県地域防災リーダー養成講座	佐賀市

10月30日	職員 1名	佐賀県地域防災リーダー養成講座（資格試験）	佐賀市
11月2日	会長・職員他	シルバー人材センター会員研修（会員17名）	多久市
11月16日	職員 1名	市町社協職員課題別実践研究会	佐賀市
11月18日	職員 2名	高齢者虐待防止研修会	太良町
11月29日	職員 1名	年金委員・健康保険委員研修会	武雄市
12月16日	職員 2名	市町社会福祉協議会法人運営に関する研修会	佐賀市
12月17日	職員 1名	佐賀県シルバー人材センター連合会業務担当者会議	佐賀市
12月23日	職員 1名	成年後見制度に関する勉強会	佐賀市
1月13・14日	職員 2名	九州ブロック地域福祉研究会議	オンライン
1月18日	職員 1名	福祉サービス利用援助事業専門員研修会	佐賀市
2月15日	職員 1名	佐賀県協働研修	オンライン
3月8日	役職員4名	市町社会福祉協議会役員・職員合同研修会	佐賀市
3月10日	職員 1名	鳥栖地区地域リハビリテーション研修会	オンライン
3月15日	職員 1名	市町社協職員連絡協議会市町社協活性化研修	佐賀市
3月18日	職員 2名	市町社協災害ボランティア運営に関する情報共有会議	佐賀市
3月23日	職員 1名	成年後見制度に関する市町担当者等会議	鹿島市

(2) 町内（行政・関係法人等）会議

期 日	内 容	主 催 者
4月12日	太良町地域包括ケアシステム研究会コアメンバー定例会	地域包括ケア研究会
4月15日	太良町地域包括ケア多職種ネットワーク会議	太良町
5月12日	SAGA2024 国体・全障体 太良町実行委員会総会	太良町
5月15日	ボランティア連絡協議会役員会（書面）	太良町ボラ連
7月13日	太良町地域包括ケアシステム研究会コアメンバー定例会	地域包括ケア研究会
7月16日	太良町商工会女性部会議	太良町商工会
9月14日	太良町地域包括ケアシステム研究会コアメンバー定例会オンライン	地域包括ケア研究会
11月9日	太良町地域包括ケアシステム研究会コアメンバー定例会	地域包括ケア研究会
12月24日	ボランティア連絡協議会役員会	太良町ボラ連
1月18日	太良町地域包括ケアシステム研究会コアメンバー定例会オンライン	地域包括ケア研究会
1月19日	ボランティア連絡協議会役員会	太良町ボラ連
1月21日	太良町地域公共交通合同会議（書面決議）	太良町
1月26日	SAGA2024 国体・全障体 総務・企画専門委員会	太良町
1月31日	太良高校地域教育連絡協議会（学校運営協議会）	太良高校
3月26日	ボランティア連絡協議会役員会	太良町ボラ連

(3) 社会福祉協議会会費納入実績

①一般会費 (1世帯当たり 500円)

地区名	会員世帯数	加入率	金額 (円)	前年対比
多良	953	86.56%	476,500	△11,500
糸岐	449	88.56%	224,500	△500
大浦	1,047	87.69%	523,900	5,950
合計	2,449	87.40%	1,224,900	△6,050

②賛助会費

一口 5,000円 × 13口 65,000円 (1口=9件 2口=2件)

③特別会費 (社協役員)

一口 1,000円 × 8口 8,000円

【使途】福祉推進員活動、ボランティア連絡協議会活動助成、地域活動団体助成  
機関誌発行など

4. 事業

(1) 児童福祉活動

① 子育て相互支援事業

事業内容と目的			
住民同士の相互支援を基本とし、外出や所用の際、幼児や児童を連れていくことが困難な場合に、子供を一時的に預かる事業。また、保育施設や学校からの送迎も行っており、子供を預かる「協力会員」、子供を預ける「利用会員」をコーディネートし、事業を円滑に運営する。			
◇登録会員の状況			
利用会員数	65名		
協力会員数	27名		
◇利用回数及び利用時間の実績			
託児延べ利用回数	4回		
託児延べ利用時間	17.5時間 (平均利用時間 約2時間/回)		
託児利用実人数	3名		
集団託児	1回	1時間	託児人数 30名
◇協力会員研修会及び連絡調整・交流会等の実績			
・協力会員連絡会議等 (協力会員の情報交換) 12回			

・交流会・イベント等（身体測定・クリスマス会等の交流事業）	幼児 163 名／保護者 130 名／サポーター97 名
・託児	幼児 34 名／サポーター7 名
・自由サロン（保護者同士の自主交流）	幼児 269 名／保護者 159 名
・その他宣伝活動（機関誌「心」への掲載、チラシ配布、母子手帳アプリ配信）	

② サンタがおうちにやって来る⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止

(2) 援護事業

事業名及び期日	対象者数	内 容
① 福祉サービス 利用援助事業	契約件数 (R4.3.31 現在) 1 件 対応延べ件数 38 件	認知症や障害があることで判断能力が不十分になり、福祉サービスを利用できない方を対象に、サービスを利用できるように「情報提供・手続き・契約・支払い・調整」等一連の手続きを支援する。
② 食糧等提供支援事業	延べ 47 名 (58 回)	生活困窮者からの相談（食糧を購入する金銭が無いなど）に対応するため地域住民や関係団体（フードバンクさが、県社協等）から提供された現物を給付
③ 緊急生活支援事業	1 件 1 名	以前太良町に住んでいたため、実家を頼って帰郷するも実家が無くなり車中泊者となる。現物支給（ガソリン代）を行った。

(3) 老人福祉活動事業

事業名及び期日	参加者数	内容
① 一人暮らし歳末 買物ツアーと歳末 プレゼント配布	買物参加者 11 名 プレゼント配付 208 名	たらふく館、ララベル 安否確認を目的とする

事業主催者＝太良町民生委員児童委員協議会

② ここ見てキット（緊急時要援護者見守り支援事業）

緊急時に、関係機関等への迅速な連絡に資するため、75 歳以上の一人暮らし高

齢者等を対象に、緊急連絡先やかかりつけ医等を明記した個人情報台帳を入れた専用容器を冷蔵庫に保管する。

#### (4) 生きがい対策事業

##### ① 生きがい対応型デイサービス事業

家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等に対し、通所による生きがい活動等の各種サービスを提供することで、社会的孤立感の解消及び自立生活の促進を図ることを目的とする。

実施月/回数	延利用者数	主な行事・レクリエーション
4月 17回	116人	自分のデイ計画書作成・かぶと作成など
5月 14回	93人	オセロゲーム・コップゲームなど
6月 18回	119人	誕生会・風鈴作製など
7月 16回	99人	七夕祭り・折り紙ちぎり絵作製など
8月 11回	55人	スカットボールなど
9月 17回	98人	誕生会・ボッチャゲームなど
10月 17回	110人	火災避難訓練・元気貯金など
11月 15回	101人	1本釣りゲーム・食改協の講話など
12月 16回	89人	誕生会・絵馬とら作製など
1月 13回	109人	福笑い・スカットボールなど
2月 14回	112人	節分豆まき・折り紙ひな人形など
3月 19回	149人	誕生会・ボーリング・皿おどり・誕生会など
合計 187回	1,250人	

内容；送迎・バイタルチェック・入浴・昼食おやつ提供・レクリエーションを実施  
※介護予防事業

ア. 運動機能向上（太良病院理学療法士によるリハビリ指導）	20回/年
イ. 認知症予防支援（太良病院作業療法士による脳トレ指導）	26回/年
ウ. 口腔機能向上（歯科衛生士による口腔ケア指導）	8回/年
エ. 栄養改善指導（管理栄養士による栄養指導）	8回/年

##### ② 生活管理指導員派遣事業

社会適応が困難な高齢者に対して、生活管理指導員（ヘルパー等）を派遣し、対象者の日常生活に対する指導・支援を行い、要介護状態への進行を予防することを目的とする。

○利用者数 3名

- 年間派遣時間数 72 時間
- 本人負担額合計 10,800 円 (150 円/時)
- 町委託料合計 97,200 円
- 収入合計額 108,000 円

③ 外出支援サービス事業

内 容	利用者延数/年
生きがい対応型デイサービス利用者送迎	1,250 人

④ 移送サービス事業

車椅子等を利用している概ね 65 歳以上の在宅高齢者を対象に、車椅子のまま乗車できる専用移送用車両を用いて通院や日常的な社会参加等を支援。

区 分	人 数	備 考
利用者（登録者）	13 名	通院等介助（4 回/月以内で 4 時間以内/回）
運転協力員	5 名	運転協力員登録者数
年間延利用単位数	168 単位	1 単位=2 時間以内
年間活動回数	120 回	

⑤ 地域介護予防教室「太良元気塾」

高齢者の要介護状態への進行を少しでも遅らせるためのプログラムを地域に出向いて実施する。指導者は、一般の介護予防アドバイザー（ボランティア）で、参加した高齢者とコミュニケーションを取りながら介護予防メニューを行う。

実施回数	参加人数	アドバイザー数
1 回	6 名	2 名

※新型コロナウイルス感染防止のため 1 回実施したが、以後通年で実施見合わせ

⑥ 介護予防教室事業

概ね 65 歳以上の方を対象に、体力向上や認知症予防を目的に各種教室を開催

教 室 名	実施回数	延べ参加者数
脳の健康教室（さくら教室）	40 回	800 名
脳の健康教室（転ばん塾）	43 回	378 名
筋力アップ教室	137 回	1,265 名
絵手紙教室	22 回	123 名
童謡を歌おう教室	17 回	301 名
デジカメ教室	23 回	178 名
男の料理教室	9 回	88 名

お絵描き教室	17回	75名
合 計	308回	3,208名

⑦ 元気貯金キャンペーン

しおさい館の利用者を対象に要介護状態への進行を防止し、介護予防への意識付けを目的に毎日実施

【メニュー】テレビ体操・健康ゲーム・健康歩行・計算ドリル・健康スクワット

	第1回	第2回	第3回
期間	6月1日～6月30日 【18日間】	10月1日～10月29日 【17日間】	2月1日～2月25日 【13日間】
時間	13時～14時	13時～14時	13時～14時
人数	利用者数 72名 利用者延べ数 365名	利用者数 76名 利用者延べ数 420名	利用者数 84名 利用者延べ数 341名

(5) 障がい者福祉事業

① 障がい者ふれあいグラウンドゴルフ大会

太良町身体障害者福祉協会が実施する「グラウンドゴルフ大会」を支援  
＝新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 手話講習会＝新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 福祉一般

① 家族介護交流事業

高齢者を介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上を目的とした、家族介護者の交流・元気回復事業。

期 日 等	参加人数
11月26日～27日 (1泊2日 唐津市)	10名

② サロンしおさい

在宅介護者や障害のある方、日常生活で困り事を抱えている町民が悩み等を語り合える場所を作る。

月	参加者	内 容
4	5名	茶話会
5	5名	茶話会
6	7名	茶話会
7	7名	茶話会・七夕飾り

8	6名	茶話会
9	8名	茶話会
10	4名	茶話会
11	4名	茶話会
12	6名	茶話会
1	6名	茶話会
2	5名	茶話会
3	6名	茶話会
合計	69名	

③ 太良町戦没者慰霊祭＝新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④ 福祉バス運営事業

社協事業や福祉団体等の研修等に福祉バスを運行

	延べ運行回数	社協事業	その他(団体)	乗車人員	走行距離
合計	56回	42回	14回	591人	1,870km
前年比	(△17)	(△2)	(△15)	(△122)	(+118)

⑤ 福祉推進員活動

町内全行政区に1名ずつ委嘱し、区長及び民生委員児童委員と協働で、住民の見守りや相談受付、社会福祉協議会の地域福祉活動推進に協力してもらう。

○福祉推進員会議開催状況（新型コロナウイルス感染防止対策のため書面对応）

第1回	関係書類の送付で対応	委嘱状交付 福祉推進員の役割 太良町の福祉サービスについて
第2回	活動内容を 書面で報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の病院送迎、話し相手</li> <li>・90歳一人暮らし男性の見守り活動</li> <li>・精神疾患の方の見守り活動</li> <li>・認知症高齢者の支援活動</li> <li>・地域サロン活動の運営</li> <li>・民生委員との情報共有</li> <li>・知的障害者のワクチン接種付き添い支援</li> <li>・老老介護の見守り活動。</li> </ul>



⑥ 福祉用具等貸出事業

介護保険を利用できない在宅の高齢者や障がい者、帰省や病院からの一時帰宅などの場合に、電動式ギャジベッド、車椅子、チャイルドシート等を貸し出す。

貸出回数/年	チャイルドシート1回・車椅子6回 体温計6回・消毒セット5回
--------	-----------------------------------

⑦ ボランティア事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止や内容を変更し対応した。

ボランティア連絡協議会支援等	事務局 代表者会議（書面決議へ変更） 役員会（12/24、1/19、3/26）
ボランティア保険への加入	164名
ボランティア協力校会議	説明書類の送付で対応
ボランティア協力校補助金	230,000円（5校合計）
納涼夏まつり会場清掃ボランティア	中止
24時間テレビ募金ボランティア	中止
第14回はばたけ！ボランティア in 伊万里	中止
赤い羽根共同募金街頭募金活動（十夜市）	中止
第11回ボランティアフェスタ実施	中止
ボラ連全会員一斉ワンボラ活動	3/12（参加者49名）

⑧ しおさい館学習会（学習支援事業）

家庭の経済的な事情等により学習塾や家庭教師等による受験対策の望めない生徒に教職経験者等による学習の機会を提供する事業。※11月～2月 14回実施

学 校 名	多良中	大浦中	計
申 込 数	9(Δ12)	14(+5)	23(Δ7)
利用者延べ人数	101(Δ172)	116(+45)	217(Δ127)

指導者=4名 ( )=対前年 ※コロナ対策のため2回中止(対前年Δ2回)

⑨ じーばの仲間クラブ

老人クラブ連合会と連携し、結婚希望者の情報収集及び見合い等の仲介役・斡旋等を行い、婚姻率を高めることを目的とする。社会貢献活動により、世話役である高齢者の生きがいがいづくりにも資する。(令和3年度は成婚なし)

⑩ 生活のお困り事相談所

生活を営む上で様々な要因で解決方法を見いだせず困っている世帯に寄り添

い、地域の関係機関や地域住民等と一緒に解決方法を見つける。また、解決できない生活の困り事については新しいサービスや仕組みを検討する。

●生活のお困りごと相談員の配置

【相談員 4名】

●相談者の男女比

男	186
女	147
合計	333

●対象者の状態

高齢	117
認知症	46
身体障害	12
精神障害	76
知的障害	0
聴覚障害	0
児童	0
一般	82
合計	333

●相談内容（困っていること）

生活支援	191
精神不安	5
引きこもり	32
一人暮らし	4
孤立	1
生活困窮	1
在宅介護	2
貸付	28
就労	1
金銭管理	8
移動	2
問題行動	42
医療機関受診・入院	1
安否確認	1
ボランティア	2
近隣住民トラブル	6
その他	6
合計	333

⑪ 太良町元気で長生き・イキイキとした幸せのまちづくり事業(生活支援体制整備事業)

生活支援体制整備事業では「高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように地域作りを行うこと。介護予防活動に取り組むことにより健康的で自立した高齢者を増やすこと。」を目的として、様々な取り組みを実施した。

多くの取り組みは、住民からのニーズに応える形で実施している。例えば「認知症」については、住民が認知症に対して漠然とした不安を感じていることから扱うこととした。また、住民活動から発生したニーズとして「有償ボランティア活動」や「開放型サロン」などをテーマとして扱っている。このように、地域にある一つ一つの問題を掘り出し、共有して話し合い、整理した課題について試行するなどを積み重ねている。その結果、体制整備事業への理解・協力者も増え続けているところであり、今年度コロナ禍ではあったが、地域の課題を解決するために必要な「地域の基盤（人）作り」が進んだ一年であった。

## ア. 第1層協議体

### 【概要】

第1層協議体では、町全域を対象とし、地域ケア会議・お困り事相談等から集まった生活課題を、地域住民と関係機関が集まって整理・分析し、住民が自主的に活動できるようにするための方向性を住民と専門職が一緒になって話し合っている。また、第2層協議体の取り組みにおいて校区単位で発生した生活課題についても、必要に応じて第1層協議体で検討し活動への提案などを行っている。話し合いの結果、新たな取り組みを実施することや、実証実験を行うこととしている。

### 【結果】

- ① 認知症をテーマとした話し合いと取り組みを継続して実施した。「認知症高齢者の通院支援試行」について地道に回数を重ねることで、問題と課題を整理し活動者を育成することができた。その結果、令和4年度から認知症サポーター「チームオレンジ」の活動へとスムーズに移行することができ、本テーマは試行終了となった。
- ② 認知症地域支援推進員から課題提起があり太良町認知症ケアパス作成と活用の方法について意見を出すことができた。
- ③ また、太良町の認知症への取り組みと、今後の取り組みについて状況整理と提案を行った。今回提案した内容はその後立ち上がることとなった「チームオレンジ」の活動へと引き継がれる。
- ④ 太良町の介護予防・健康増進啓発として企画された「サガトコスタンプラリー」について、委員を始め、ボランティアグループも巻き込み運営できるように準備を進めていたが、コロナ禍により中止せざるを得なかった。企画まではできたことから、今後開催するための手順は確認できた。
- ⑤ ボランティア活動者から「ボランティアによる有償活動の必要性」「ボランティアでは受け止めきれない依頼」などについて協議体へ問題提起があった。その提案に対し協議体で検討を重ね、解決方法の一つとして「お困り・お助けマッチングシステム」の検討を始めた。これは地域の困っている人と、助けて欲しい人を柔軟に繋ぐ仕組み作りである。
- ⑥ また別の解決方法では「有料でも手伝ってもらえる方法を考えて欲しい」という住民からの依頼を受けて検討を始めた。今ある資源（住民ボランティア活動やシルバー人材センターなど）を調査し、解決方法も話し合った。上記のマッチングシステムや試行も含めて今後も継続して検討を重ねる。
- ⑦ 住民ボランティアの「有償活動」についてもテーマとして取り扱った。しおさい館の高齢利用者に、有償の除草作業を依頼する試行を企画した。有償活動の人材確保に合わせて、高齢者の介護予防や社会での役割獲得という効果も期待できる企画となっている。

会議・活動	開催日	参加	主な内容
第1回会議	5月13日	14人	(1) 講話「生活支援体制整備事業と協議体について」 さわやか福祉財団 江口洋介さん (2) 認知症高齢者の通院支援試行活動について (3) 太良町サガトコプロジェクト企画について
第2回会議	6月10日	17人	(1) 認知症支援員の困りごと相談「認知症ケアパスの作成と活用について」 (2) 認知症高齢者の通院支援試行活動について
第3回会議	7月8日	16人	(1) 認知症ケアパス作成について (2) 認知症の啓発方法と初期での発見について (3) 認知症高齢者の通院支援試行活動について
第4回会議	10月14日	17人	(1) 太良町認知症への取り組み状況と課題について整理 (2) 認知症高齢者の通院支援試行活動について
第5回会議	11月11日	16人	(1) 「有料でも手伝ってもらいたい」ニーズについて お困りお助けマッチングシステムの提案
活動(※)	11月20日	10人	太良町サガトコスタンプラリー
第6回会議	12月9日	16人	(1) 地域住民活動の情報共有(さちサポご縁クラブの年末窓ふき活動など) (2) 太良町サガトコスタンプラリー企画について (3) 体制整備事業の取り組み状況報告(ケーブルテレビ放送、中学校での福祉学習など)
第7回会議	1月13日	9人	(1) さちサポご縁クラブ代表との対話 (2) サガトコスタンプラリー企画について
第8回会議	2月10日	12人	(1) 「有料でも手伝ってもらいたい」ニーズについて 社協の相談支援事例を紹介 地域の困りごとをいかにして拾い集めて、支援に繋げていくか
第9回会議	3月10日	11人	(1) 「有料でも手伝ってもらいたい」ニーズについて (2) お困りお助けマッチングシステムについて

〈1層協議体による試行活動などの詳細〉

○1層協議体による試行活動 独居認知症高齢者などの通院支援（令和2年度からの継続）  
対象者2名 活動回数12回（コロナワクチン接種を含む）

○太良町サガトコスタンプラリー（※再掲）

R3/11/20 10:00~12:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層協議体にて、町民の介護予防と健康増進啓発活動の1つとして企画した。佐賀県のサガトコアプリを活用するイベント。準備計画するも、コロナ禍により2度の中止があった。</li> <li>サガトコ太良町スタンプラリーコース（およそ7km、2時間）</li> <li>・企画時のサガトコ登録者415名→令和3年度末では511名（96名増）</li> </ul>
-------------------------	---

#### イ. 太良町第2層協議体

##### 【概要】

第2層協議体では、校区や行政区を対象として、生活課題の状況を踏まえながら、地域にある社会資源・協力いただく住民と、高齢者の介護予防や安心した生活を追求するための活動の実践方法を、住民が自主的に参画し、住民の目線で話し合い（協議する）、実践していく組織である。

##### 【結果】

- ① 第2層協議体として「地区住民が話し合う機会」を推進する為に、数カ所の地区区長と協議を行ったが、新型コロナウイルスが蔓延したため、地区単位の話し合いや行事も中止されており受け入れは難しい状況が続いた。
- ② 従来、地区で運営されているサロン活動はいわば「住民ボランティア提供型」のサロンであり、今後は「サロンの運営者と利用者が共に協同し運営する居場所づくりを行いたい」との住民の思いがあり、その活動を支援した。

集会・活動	開催日	参加人数	主な内容
第1回集会	12月21日	5人	開放型サロンの運営について
第2回集会	3月23日	5人	開放型サロンの運営について

#### ウ. 幸せの町づくりサポーター（さちサポ）

##### 【概要】

福祉の町づくりを推進していくためには、住民自身が自ら地域問題に気がつき、他人ごととせず自主的に話し合い、取り組み、解決できる人材を育てていく必要があり、そのため幸せの町づくりサポーター（福祉の町づくりに興味がある“仲間”を組織化して自主的に活動できるようになることを目的とする者）を育成し続けている。また、育成した幸せの町づくりサポーターは、福祉の町づくりの実践的活動を通して、様々な団体や関係機関と協働しながら、共生社会の実現を目指す。

##### 【結果】

- ① 新型コロナウイルス収束の兆しが全く見えない状況で、全体集会は1回しか開催できなかった。その一方で、密にならずにできるクラブ単位（小グループ）や個別での活動が主となった。

- ② 年末のご縁クラブ窓ふき活動についても、前回に高齢住民と活動協力したボランティアから大変好評だった企画につき、今年度もご縁クラブを中心に実施することとなった。当日窓ふき活動に使用した雑巾は、認知症の方が手縫いで作ったことも特徴のひとつである。認知症の母を介護する人からの相談で、「裁縫が得意だった母が、今は日中やることが無くて、ひたすら雑巾を縫い続けている」という話を聞き、今回の企画へと繋ぎ実現できた。材料は大町災害ボランティアセンターに余っていた物を提供して頂いた。その他、太良高校生徒の参加も初めて実現できたことであり、当日の活動は佐賀新聞に掲載された。

〈全体集会〉

開催日	参加人数	主な内容
7月15日	14人	<ul style="list-style-type: none"> <li>• さちサポについて</li> <li>• 配食ボランティア活動</li> <li>• 各クラブの活動状況や課題の報告</li> </ul>

〈各クラブ活動話合いの開催〉

クラブ・活動 (所属人数)	主な取り組み内容・テーマ	話合い 回数	延べ参加 人数
移送クラブ (5人)	〈コミュニティバス・ベンチ設置〉 ・実際どのように利用されているのかを知り、住民により活用してもらえる方法を考える為に、運行実績についてデータから読み取り研究をした。 ・設置したベンチの確認（中尾、波瀬ノ浦等）へ行く。 ・実際にコミュニティバスへ試乗し、研究を行った。	2回	10人
	〈認知高齢者の通院支援〉 ・総意として「活動したい」（タイミングは別途検討）	1回	3人
	〈介護予防教室への移送支援〉 ・自家用車や社協公用車運転の場合における、誓約書を取り交わす。 ・転ばん塾利用者の移送支援を実施。 R3年度は試行実施（11月～3月まで） 活動者（大浦地区2人）社協公用車運転利用者（3人）	8回	32人
ながらウォーキングクラブ (4人)	町内を健康ウォーキング“しながら”できる福祉ボランティア活動を行う。「自身の健康増進や健康作りの啓発」と「町の福祉活動」が同時に進められる事が特徴。 例えば、道の清掃、危険箇所の確認、見守りなどを歩	2回	5人

	<p>くコースによって変えている。</p> <p>〈活動〉開催回数7回、延べ参加者51人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御手水地区周辺散策</li> <li>・サガトコスタンプラリーコース2回</li> <li>・野上・中畑地区周辺</li> <li>・津ノ浦・今里地区周辺</li> <li>・糸岐地区の三社参り</li> <li>・片峰・端古賀地区周辺</li> </ul>								
<p>傾聴クラブ ↓ 庭先おしゃべりクラブ (6人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご縁クラブとの連携活動がスタート。</li> <li>・「傾聴」に高齢者の馴染みが無い事から、クラブ名を変更(→庭先おしゃべりクラブ)。</li> <li>・広報宣伝活動実施。(太良病院、光風荘、ふるさとの森、包括支援センター、ゆたたり)</li> <li>・認知症や日中独居高齢者宅へ訪問傾聴活動を実施。</li> </ul>	4回	15人						
<p>笑みネイル (1人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10/27 ぬくもいホームを訪問し、ネイルを使ったメイクアップセラピーを実施：利用者数10人</li> <li>・PRチラシの作成</li> </ul>	1回	1人						
<p>ご縁クラブ (14人)</p>	<p>暮らしのちょっとした困りごと応援団</p> <p>延べ活動者数120人 活動件数50件</p> <p>窓拭き・重い物の移動・粗大ゴミ運搬・換気扇の掃除・電球交換・草取り・戸車交換等</p> <p>※下表は年末の特別活動(右列回数・人数には含まない)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 20%;">日付</th> <th style="width: 50%;">活動者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年末ガラス拭き 24件</td> <td>12月4日 終日</td> <td>一般18人 高校生11人 計29人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	日付	活動者数	年末ガラス拭き 24件	12月4日 終日	一般18人 高校生11人 計29人	5回	35人
項目	日付	活動者数							
年末ガラス拭き 24件	12月4日 終日	一般18人 高校生11人 計29人							

エ. その他、総合事業や地域課題に対する新たな福祉サービスの提案と検証など

**【概要】**

生活支援体制整備事業では、住民ニーズに対し、第1層協議体を中心に解決策の検討を重ねている。その結果、安定的に福祉サービスを提供する必要性が発生した場合、行政が主体的に実施する総合事業などへの提案を行う。また福祉サービスを安定して提供し続けるための工夫などの試行実験を行い、様々な検証をすることとしている。

**【結果】**

取り組み	主な内容
① ケーブルテレビを活用	体制整備事業を進めていく中で「そもそも、“元気な高

<p>した、元気高齢者モデルの紹介</p>	<p>齢者”って何？」という声があった。地域で暮らす高齢者の元気に生活をしている姿を、“モデル”として紹介していくことで、高齢者の健康作りへの意識向上を促す事を目標とする。</p> <p>またコロナ禍により地区で集まる機会が減り、自宅でテレビを見る時間が増えた今、あの人が「元気でやっています」というメッセージを伝えられたら元気になれる人が出てくることも期待する。</p> <p>令和4年3月はがくれテレビにて放送。</p>
<p>② スマートフォン活用講座</p>	<p>高齢者を含む地域住民からの要望があり、実施した。スマートフォンは、今や高齢者にとっても便利なアイテムとなっている。通話だけではなく、インターネットでの情報収集や、SNS やメールを利用してコミュニケーションが取れる。また、災害時の情報機能など、いざという時に安心である。</p> <p>① LINE を楽しもう (7月31日 参加者18名)  ② キャッシュレス決済を始めよう (10月9日 参加者13名)  ③ マップを使いこなそう (10月16日 参加者10名)</p>
<p>③ コロナ禍における高齢者日常生活調査</p>	<p>コロナ禍での高齢者の日常生活の変化についてアンケート調査を実施 (9/8～10/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・105人から聴き取り調査</li> <li>・約半数の方が生活の変化があったと回答 (行動制限等)</li> <li>・自分の健康や栄養に気をつけるようになった。</li> <li>・外出の機会が減り、体力や筋力が落ちた、など。</li> </ul>
<p>④ 佐賀県地域生活サポーター養成講座  主催：佐賀県  後援：太良町社会福祉協議会 (生活支援体制整備事業)  ※太良町訪問B型サービス活動者養成研修に該当する内容</p>	<p>10月22日 9:00～15:00 14名 (女性11名、男性3名))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所づくりを行うことで、自らの介護予防とお互いに支え合う町づくりを推進することができる。</li> <li>・ボランティアの人材確保、育成の必要性を話され、どこも同じような課題があると言われた。</li> <li>・車椅子の使い方については、グループに別れての実習で勉強になったとの参加者の声があった。</li> </ul>
<p>⑤ 食する行為の変化について</p>	<p>食生活改善推進員に“食する行為の変化を検証する”に協力いただいた。対象者は日頃から配食サービスを利用している高齢者。今回の検証では「何を食べたいか」を意識させるため、食生活改善推進員が①食べたい料理を聞く②買い物③高齢者と一緒に調理する支援を行った。</p>



	<p>また、検証の途中であるが「食べたい料理を食べる」を経験することで、今年度は「食べたい物に対する意識の変化」が見られた。令和4年度も引き続き実証実験を行い、最終目標としている「豊かな人生を送るための食生活習慣づくり」に近づきたい。</p> <p>検証1回目：2月19日      検証2回目：3月19日</p>
⑥ 生きがい助け合いサミット in 神奈川 (全国規模の大会) ポスター出展	<p>太良町体制整備事業の取り組みを紹介するポスターにて応募した。その結果、全国サミットに出展することとなった。 ※令和3年9月1日～2日開催</p>

### 【概要】

地域包括ケアシステム研究会とは、町内の医療、福祉、行政の各事業所が連携し、太良町の地域包括ケアシステムを構築する事を目指す組織。生活支援体制整備事業の役割としては、住民の主体的な活動を作り、提案できる特性を活かして、専門職の活動と連携した取り組みができるようにコーディネートする。研究会コアメンバーの内、体制整備事業班の方に第1層協議体委員となってもらい、相互に連携した取り組みを展開していく。

### 【結果】

	コアメンバー会			研究会分科会				
	定例会 および 臨時会	在宅医療介 護連携推進 事業班	生活支援 体制整備 事業班	人材確保	チーム ロコモ	どこでも 電動カー	異世代交 流	おひとり 様サ ポート
4月	13日			27日				21日
5月			13日				26日	12日
6月			10日				18日 22日	17日
7月	13日	13日	8日					
8月								
9月	14日						29日 30日	22日
10月			14日					13日
11月	9日		11日 20日				24日	11日 24日
12月			9日					22日
1月	18日	6日	13日					18日
2月			10日					22日 24日
3月			10日					25日

〈異世代交流分科会活動：福祉学習「超超高齢社会」〉

太良町の超高齢社会がより厳しくなる状況を、カードゲーム風に体験をする内容。

第1回	日時：令和3年9月29日（水）13：10～14：10 場所：多良中学校体育館 対象：多良中学1年生（40名）
第2回	日時：令和3年9月30日（木）13：30～15：45 場所：大浦中学校教室 対象：大浦中学1年生（21名）

⑬ 認知症総合支援事業

- ・ 認知症地域支援推進員の設置
- ・ 認知症カフェの設置及び運営
- ・ 認知症初期集中支援チーム等関係機関との連携
- ・ 本人、家族、支援者等関係者への研修会、交流会等の実施

ア. 認知症地域支援推進員活動集計

活動	件数	
個別支援	相談総数	50
	本人	9
	本人以外	41
	連絡・情報共有数	34
	家族	1
	他機関	33
	訪問総数	90
	安否確認・傾聴等	42
	生活支援	48
	身体支援	0
啓発活動	認知症初期集中支援チームとの連携活動	6
	サービス利用支援	18
啓発活動	総数 検診や介護予防教室などで町民や事業所へ	72
認知症カフェ	利用者総数	141
	本人	2
	家族	21

	支援者 一般 会議	40 24 54	
会議	総数	40	
	認知症初期集中支援チーム員会議	12	
	個別支援会議	2	
	第1層協議体会議	10	
	太良町多職種ネットワーク会議 太良町認知症地域支援推進員会議	1 15	
認知症キャラバン関連	太良町認知症キャラバンメイト連絡会	1	
	認知症サポーター養成講座開催数 (認知症サポーター養成数)	4 64	
	ステップアップ講座開催数 (チームオレンジ養成数)	1 26	
	研修	総数	5
	認知症地域支援推進員現任者研修 チームオレンジコーディネーター研修 これからの認知症を考えるセミナー 地域リハビリ研修会(認知症について) 高齢者虐待研修	1 1 1 1 1	

イ. 9月21日世界アルツハイマーデー(認知症啓発イベント)

総参加者数 83名 総参加事業所・団体数 35

イベント内訳		数
しおさい館	映画DVD鑑賞会	53名
	認知症サポーター養成講座	22名
	ロバ隊長を作ろう	5名
	しおさいカフェ(ポスター書籍展示等)	4名
町内事業所・団体数	オレンジマスク装着による啓発活動	35カ所

ウ. 9月アルツハイマー月間(認知症啓発イベント)

啓発ツール設置	協力事業所・団体数
オレンジのぼり旗・ポスター掲示	29
オレンジライトアップ	1
オレンジバルーンアーチ設置	2

⑭ 高齢者等の「働き場」創設事業（シニアマスター事業）

収入が少なく、また体力を必要とする仕事が困難な高齢者等（障害者）を対象に年間を通じ「働き場」を創設した。

- ・働き場：アカネカフェ（しおさい館ロビー）
- ・業務内容：飲料の提供
- ・活動日：火曜・水曜・金曜（活動時間 11：00～13：00）
- ・活動者：3名（年間延べ活動者数：244名）

※売り上げ金は、全て赤い羽根共同募金への募金とした。

本活動に対する募金（1杯あたり100円程度の募金） 累計額 128,181円

⑮ ひきこもり支援

- ア. 「ひきこもり相談所」開設のチラシを全戸に配布
- イ. 相談員のレベルアップを目的とした勉強会への参加
- 県主催の勉強会：ひきこもり家族教室（年6回）

(7) 機関誌「心」発行

号	月	表紙	主な記事
102	6月	転ばん塾	令和2年度事業報告・財産目録 ぽっかぽか広場バスハイク しおさいカフェ
103	9月	ぽっかぽか広場 イベント情報	かんたんスマホ教室 寄附金の税制優遇措置 認知症予防啓発 社協会費・日赤社費
104	1月	ご縁クラブ窓拭き 歳末たすけあい事業	新年あいさつ 共同募金 介護予防教室 しおさいカフェ 世界アルツハイマーデー
105	3月	ぽっかぽか広場 豆まき会	生活支援体制整備事業 しおさいカフェ 共同募金 シルバー人材センター会員募集

(8) 貸付事業

貸付種類		貸付件数	貸付金額
① 国民健康保険高額療養費貸付		貸付件数； 0件	—
② 太良町福祉資金貸付		貸付件数； 1件	100,000円
③生活福祉資金貸付事業 (県社協委託)	通常	貸付件数； 0件	(貸付残数；8件)
	特例	貸付件数； 11件	(新規、延長、再)

※特例：新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金特例貸付

(9) シルバー人材センター事業

社会参加の意欲がある健康な高齢者に対し、その知識及び経験に応じた就業並びに

社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図る。

公共		民間		個人		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
96	5,300,280 円	17	1,273,520 円	205	5,020,630 円	318	11,594,430 円

会員数 27 名（男性 11 名・女性 16 名）

(10) 介護保険事業

① 1号通所事業（デイサービスしおさい）

介護保険該当者（事業対象者・要支援 1・2）に対し、送迎・入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

月/回数	延利用者数	主な行事・レクリエーション
4月 17回	33名（事 4①28②1）	自分のデイ計画書作成・かぶと作製など
5月 14回	26名（事 3①22②1）	オセロゲーム・コップゲームなど
6月 18回	50名（事 10①27②13）	風鈴作製・誕生会など
7月 16回	49名（事 6①25②18）	七夕祭り・ちぎり絵作製など
8月 11回	25名（事 6①11②8）	スカットボールなど
9月 17回	42名（事 9①21②12）	誕生会・折り紙傘作製・ボッチャゲームなど
10月 17回	25名（事 7①18②0）	火災避難訓練・元気貯金など
11月 15回	29名（事 7①20②2）	1本釣りゲーム・食改協の講話など
12月 16回	30名（事 7①19②4）	誕生会・折り紙トラ作製など
1月 13回	20名（事 3①13②4）	福笑い・スカットボールなど
2月 14回	14名（事 2①12②0）	節分豆まき・折り紙ひな人形など
3月 19回	19名（事 0①16②3）	誕生会・ボーリング・皿おどりなど
合計 187回	362名	※事=事業対象者 ①=要支援1 ②=要支援2

② 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスB）

総合事業対象者に対して、住民主体のボランティアが多様な生活援助等を行い、対象者が自立した生活が送れるよう支援することを目的に実施。

- 延べ利用者数 24名
- 年間派遣時間数 41.5時間
- 本人負担額合計 8,300円（200円／1時間、100円／30分）
- 町委託料合計 30,020円（580円／1時間、460円／30分）
- 収入合計額 38,320円

(11) 地域福祉推進事業関係

① 地域福祉活動補助金（団体補助）

地域住民が組織する団体やボランティア団体など、地域が抱える課題や幸せの町づくり活動に積極的に取り組む事業に補助。

- ・ 補助金原資 社協会費及び共同募金配分金
- ・ 審査会（※新型コロナウイルス感染を防止するため中止）

団体名	補助金額	主な活動
商工会青年部	70,000円	地域の子供達との交流活動
川原千本桜の会	100,000円	地域住民交流活動
びっくりファーム	40,000円	男性グループによる野菜畑づくり
太良町ボランティア連絡協議会	70,000円	ボランティア連絡協議会運営費
ボランティア協力校補助	230,000円	町内5校を対象とした活動費補助
太良町遺族会	252,000円	遺族会に対する運営費補助
保護司会	30,000円	保護司会に対する運営費補助
7件	792,000円	

② ふれあいいいききサロン活動助成金

団体名（地区）	回数	参加人数	助成額(円)
江岡さくら会（江岡）	3	35	7,000
亀の浦いきいきサロン（亀ノ浦）	4	119	20,000
北茶サロン（北町）	2	34	6,800
ことぶきサロン野崎（野崎）	21	162	32,400
生き生き倶楽部（平野）	19	114	22,800
今里コスモスさろん（今里）	8	94	18,000
野上笑顔サロン会（野上）	7	75	15,000
端古賀サロン（端古賀）	3	32	6,400
合計	67	665	128,400

(12) 総合福祉保健センターしおさい館の指定管理

① 施設の適正な維持管理

ア. 建物・設備の保守点検

利用者が快適・安全に利用できる施設管理を行うため、専門業者及び職員による点検を実施。

【点検】 ・ 建築設備定期点検及び報告（県へ）	年1回
----------------------------	-----

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築設備巡回点検</li> <li>・ 空気環境測定</li> <li>・ 消防用設備定期検査（年 2 回のうち総合検査を県へ報告）</li> <li>・ 防火対象物定期検査（特例認定より 3 年間報告免除）</li> <li>・ 自動ドアの保守点検</li> <li>・ トレーニング機器の保守点検</li> <li>・ 電気工作物保安点検</li> <li>・ しおさい館停電検査</li> <li>・ 昇降機設備定期作業点検（うち 1 回の結果を県へ報告）</li> <li>・ 昇降機設備リモート点検</li> <li>・ 衛生マットの定期交換</li> <li>・ 空調機フィルター清掃</li> <li>・ 氷蓄熱装置保守点検うち 2 回は冷暖切替えも実施（春・秋）</li> <li>・ 濾過器、バイブラ装置保守点検</li> <li>・ 真空式温水器（ボイラー）保守点検</li> <li>・ ティーサーバー保守点検</li> <li>・ ティーサーバーフィルターカートリッジ取替</li> <li>・ 厨房冷凍冷蔵庫保守点検</li> </ul>	<p>月 1 回 年 6 回 年 2 回 年 1 回 年 4 回 年 1 回 月 1 回 年 1 回 年 2 回 月 1 回 月 2 回 年 6 回 年 4 回 月 1 回 年 2 回 年 2 回 年 1 回 年 1 回</p>
<p><b>【修理及び整備等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ しおさい館ガスメーター更新</li> <li>・ 福祉棟 2 階男子和式トイレタンク下部水漏れによるパッキン交換（1ヶ所）</li> <li>・ しおさい館南側屋外遊具横の砂場の砂消毒と追加</li> <li>・ しおさい館南側屋外遊具ブランコの座面板取替えとブランコの再塗装</li> <li>・ ティーサーバー漏水による給水配管部品と温度センサー交換</li> <li>・ 厨房電子レンジ故障のため更新</li> <li>・ 大広間、大研修室、ボランティア室、旧ヘルストロン室の会議用高机のキャスター交換</li> <li>・ 保健棟調理実習室エアコンドレン排水管水漏れ補修</li> <li>・ 2 階男子浴室洗い場鏡ウロコ取り、割れにくい鏡貼り付け</li> <li>・ 2 階男子浴室洗い場上部の丸型蛍光灯交換（30W×1 本）</li> <li>・ 館内廊下タイルカーペット一部シミ取り</li> <li>・ 浴槽用ろ過器（1 階用・2 階用）タイマー劣化により交換</li> <li>・ 厨房トイレ、保健棟多目的トイレを温水シャワー便座へ取替</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・しおさい館漏水補修工事（玄関エリア、2階東側廊下等）</li> <li>・館内電力監視制御装置（デマンドシステム）ソフト更新</li> <li>・厨房機器更新（食洗機、フライヤー、大型食器乾燥殺菌機等）</li> <li>・福祉棟1階西側通用口上部誘導灯故障の為LEDタイプへ取替</li> <li>・福祉棟2階憩いの間前廊下上部誘導灯バッテリー交換</li> <li>・しおさい館内フリーWi-Fi新規設置</li> <li>・券売機、新500円硬貨対応部品取付</li> <li>・福祉棟多目的トイレの手洗い場の水道を自動から手動タイプへ交換</li> <li>・2階男女浴室脱衣所洗面所配管の袋ナット腐食のため8ヶ所交換</li> <li>・2階女子浴室脱衣所床板膨張変形により床板貼替え</li> <li>・浄化槽液面切替え用レベルセンサー不良により更新（1個）</li> <li>・保健棟（調理実習室北側、研修室東側、栄養指導室東側）ブラインド更新</li> <li>・事務所内エアコン（北西側一機）異音発生によりファンモーター交換修理</li> <li>・2階女子浴室脱衣所設置のドライヤー1台更新</li> </ul> <p><b>【植栽管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽樹木管理（シルバー人材センターによる作業）</li> <li>・周辺花壇整備（民生委員児童委員協議会）</li> </ul>	
--	--

イ. 環境衛生業務

日々の清掃及び定期清掃を実施することで衛生的で気持ちよく利用できる環境づくりに務めた。

<p><b>【清掃及び消毒など】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内清掃（シルバー人材センター及び職員）</li> <li>・定期巡回清掃</li> <li>・定期（床）清掃</li> <li>・窓ガラス清掃</li> <li>・窓ガラス水アカ除去</li> <li>・トイレ撥水</li> <li>・浴槽内排水による清掃</li> <li>・受水槽の清掃と消毒</li> <li>・グリストラップ清掃</li> <li>・排水管高圧洗浄</li> </ul>	<p>毎 日</p> <p>週 1 回</p> <p>年 6 回</p> <p>年 4 回</p> <p>年 1 回</p> <p>年 1 回</p> <p>週 1 回</p> <p>年 1 回</p> <p>年 4 回</p> <p>年 1 回</p>
---	---



・ボイラー室から浴槽までの循環配管内薬品洗浄	年1回
・手洗い場排水パイプ洗浄	年2回
・保健棟調理実習室ガスコンロ周辺清掃	年6回
・定期薬剤散布による害虫駆除	年2回
・グリスフィルター清掃	年2回
・排気ファン清掃	年1回
<b>【検査】</b>	
・飲料水の水質検査	年2回
・レジオネラ菌検査	年2回
・煤煙測定検査	年2回
・浄化槽法定検査	年1回
・地下タンク検査	年1回

#### ウ. 夜間受付及び警備業務

事故や犯罪防止のために専門業者に業務を委託して閉館後の安全管理に努めた。

- ・17時以降閉館まで（シルバー人材センター）
- ・閉館から翌朝開館まで（警備会社委託による機械警備）
- ・事故発生等に対応できる警備体制確認

#### エ. 災害時の体制及び対応

事故や災害が発生した場合を想定し、緊急連絡網を整備し緊急時に備えた。

- ・消防訓練実施（厨房を含む全職員・シルバー人材センター会員・一般来館者）⇒年2回
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策の実施（入館利用制限、マスク着用要請、手指消毒の徹底、次亜塩素による拭取り消毒、入館時の検温と質問票記入、一般利用者とデイサービス利用者との区分けの徹底）

#### ② 効率的な運営の取り組み

公共施設であるとしての経費削減に努めるとともに、増収に務めた。

- ・建物管理業務分離発注及び入札により経費削減を実施
- ・毎朝、職員が清掃し清掃費の節減に努めた
- ・きめ細かな空調管理による消費電力節減
- ・電力監視制御装置（デマンドシステム）による最大需要電力量の監視
- ・自動販売機による手数料収入

③ 利用者の状況及び利用者増・サービス向上に向けた取り組み

- ・館内行事及びその他お知らせの効果的な告知のため玄関ホールにてデジタルサイネージ運用
- ・リサイクルショップの運営
- ・夜間（17時以降）町内利用者の利用料半額サービスを継続
- ・令和3年9月21日は敬老の日記念のため17時まで入館料無料
- ・ヨガ教室（月3回金曜日）
- ・趣味クラブの利用 囲碁 染色 手話 ステンシル

④ 利用者の状況 ( ) 内は、夜間利用者再掲

年度	福祉棟利用者	保健棟利用者	合計	開館日数
令和3年度	18,484 (5,297)	7,740 (1,250)	26,224 (6,547)	237
令和2年度	18,300 (5,576)	7,166 (1,039)	25,466 (6,615)	244
令和元年度	21,545 (6,218)	10,588 (1,883)	32,133 (8,101)	230

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため令和3年8月20日から令和3年8月31日までの期間臨時休館

※新型コロナウイルス（オミクロン株）感染拡大予防のため令和4年1月12日から町内在住の方のみの利用に限定

⑤ 行政関係等による利用

- ・各種相談 行政、人権、無料法律、行政書士、消費生活、女性総合、もぐもぐ乳児、精神保健福祉、一般健康の各相談 外
- ・健診等 一般、特定、乳幼児、がん、歯科、レディースの各健(検)診、特定保健指導、予防接種 外
- ・会議等 農業委員会、同和問題研修会、母子保健推進員会議、食生活改善協議会会議、地域ケア会議、地域包括多職種ネットワーク会議、介護保険説明会 外
- ・その他 町老人クラブ連合会事業 外

⑥ 広報活動・苦情・意見対応ほか

- ・要望箱の設置
- ・太良町コミュニティバス利用についてのサポート
- ・社協だより及び本会ホームページによる情報発信

- (13) 大町災害ボランティアセンター支援（令和3年8月大雨災害における応援職員派遣）  
 期 間 ; 令和3年8月18日から令和3年10月14日まで（派遣実数29日）  
 職員数 ; 延べ47名（8月33名、9月12名、10月2名）  
 その他 ; 超勤手当及び出張旅費（140,947円）については全額補填された

(14) 関連団体事務取り扱い

① 佐賀県共同募金会太良町支会

(i) 赤い羽根共同募金	募金総額	1,570,080円		
戸別募金	845,880円	街頭募金	0円	法人募金 227,000円
学校募金	9,492円	職域募金	164,937円	イベント募金 41,530円
その他	281,241円			
(ii) 地域歳末たすけあい運動募金	募金総額	261,439円		
75歳以上一人暮らし安否確認プレゼント配布・買い物ツアー				222,050円
75歳以上一人暮らし年末ご縁クラブ窓拭きお手伝い活動				18,780円
次年度一般配分金への繰越金				20,609円
(iii) 災害義援金の受付			3件	14,000円
(IV) 県共同募金会より災害見舞金	全焼火災	0件		0円

② 日本赤十字社佐賀県支部太良町分区

(i) 世帯からの受入会費総額	1,376,930円		
(ii) 県支部からの災害見舞金	0円	(全焼火災0件)	
(iii) 県支部から救援物資配布	0件		
(IV) 県支部からの交付金	179,001円		
(V) 災害義援金の受付	0件		0円

③ 太良町民生委員児童委員協議会

(i) 定例会開催	11回/年		
(ii) 補助金に関する事務取扱い	町補助金 2件	県社協補助金	1件
(iii) 事務費出納事務	667,013円		
(IV) 活動費出納事務	3,350,000円		